BVJ-第12号様式(建築物省エネ法)

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書 (第一面)

年 月 日

ビューローベリタスジャパン株式会社 御中

届 出 者

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能に関する法律施行規則第3 条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

(1) 建築物等の名称	
(2) 建築物等の所在地	
(3) 直近の確認番号	BVJ-
(4) 当初の省エネ適合判定年月日・番号	年 月 日 第016-
(5) 変更の内容	
□ A 省エネ性能が向上する変更	
□ B 一定範囲内の省エネ性能が減々	シする変更
□ C 再計算によって基準適合が明め	らかな変更 (計画の抜本的な変更を除く)
(6) 適合判定以降に交付を受けた通知書等	等の年月日・番号 ※最終の通知書等を別紙として添付
	年 月 日 第016-
	年 月 日 第016-
	年 月 日 第016-
(7) 備 考	
※受付欄	(注意)
次文刊懶	(江) この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確
	は、元子検査中間の际に、中間に係る建築物の建築物エネルギー消貨性能権保計画に軽微な変更があった場合に、完子検査申請書の第三面の別紙として添付してください。
	②変更に関わる部分の変更前後の図書を添付し、正本1部、副本1部としてください。 (※印のある欄は記入しないでください)
	③「届出者」は、建築主、または建築主から委任を受けた代理者としてください。 (代理者が「届出者」となる場合は、委任状(又はその写し)を添付してください)
	④ (5) 変更の内容において、Aにチェックした場合には第二面に、Bにチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。Cにチェックした場合には軽微変更該当証明書及びその申請に要した図書を添付し、(6) に「軽微変更該当証明書」と記載(プルダウンより選択可)し、その番号と年月日を記入してください。
	⑤ (5) Aにチェックした場合は第三面以降の、Bにチェックした場合は第二面の、Cに チェックした場合は第二面以降の添付を省略できます。
	⑥ (5) Cにチェックした場合は最終の軽微変更該当証明書の写しを添付してください。
	⑦記載例を参考に記入してください。

(第二面)

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書

・変更内容は、□チェックに該当する事項となる
□ ① 建築物高さもしくは外周長の減少
□ ② 外壁、屋根もしくは外気に接する床の面積の減少
□ ③ 空調負荷の軽減となる外皮性能の変更
□ ④ 設備機器の効率向上・損失低下となる変更
□ ⑤ 設備機器の制御方法の効率向上・損失低下となる変更
□ ⑥ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設、増設
□ その他 ()
・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄
・添付図書等
(注意)変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更 内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

(第三面)

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書

・変更前のBEI= ()	≤ 0. 9	
・変更となる設備の概要		
□ 空気調和設備	Γ	٦
変更内容記入欄		
□機械換気設備	[7
変更内容記入欄		
□ 照明設備	Γ	٦
変更内容記入欄		
□ 給湯設備	Company of the com	7
変更内容記入欄		
□ 太陽光発電	Γ	7
変更内容記入欄		
・添付図書等		
(注意)変更となる設備は、 容記入欄に概要を、第三面別	該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、 紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。	変更内

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書

次に掲げる(い)、(ろ)のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。	5
(い) 外壁、屋根、外気に接する床若しくは窓の平均熱貫流率若しくは窓の平均日射熱取得率の増加(5%を超えない場合に限る。) 又は減少	
外壁の平均熱貫流率の増加(5%を超えない範囲)又は減少	
変更内容 □ 断熱材種類 □ 断熱材厚み	
変更する方位 □ 全方位 □ 一部方位のみ (方位)	
変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %	
屋根の平均熱貫流率の増加(5%を超えない範囲)又は減少	
変更内容 □ 断熱材種類 □ 断熱材厚み	
変更する方位 □ 全方位 □ 一部方位のみ (方位)	
変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %	
外気に接する床の平均熱貫流率の増加(5%を超えない範囲)又は減少	
変更内容 □ 断熱材種類 □ 断熱材厚み	
変更する方位 □ 全方位 □ 一部方位のみ (方位)	
変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %	
窓の平均熱貫流率の増加(5%を超えない範囲)又は減少	
変更内容	
変更する方位 □ 全方位 □ 一部方位のみ (方位)	
変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %	
窓の平均日射取得率の増加(5%を超えない範囲)又は減少	
変更内容 □ ガラス種類 □ ブラインドの [;]	
変更する方位 □ 全方位 □ 一部方位のみ (方位)	
変更前・変更後の平均熱貫流率 変更前 () 変更後 () 増加率 () %	
(ろ) 熱源機器の平均効率について10%を超えない低下	
平均熱源効率(冷房平均COP)	
変更内容 □ 機器の仕様変更 □ 台数の増減	
変更前・変更後の平均熱源効率	
変更前 (変更後 () 減少率 () %	
平均熱源効率(暖房平均COP) 	
変更前・変更後の平均熱源効率	
変更前 (変更後 () 減少率 () %	

[機械換気設備関係]

			る室の用途 上する変更			げる((N) 、 (Z	5) の	いずれか	に該当し、こ∤	以以外	外については「変更な		
(V)	(い) 送風機の電動機出力について10%を超えない増加													
	室用途	()									
	変更内容	\$		機器の作	上様変更		一台数の増							
	変更前・変更後の送風機の電動機出力													
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%		
	室用途	()									
	変更内容	?		機器の作	上様変更] 台数の増							
	変更前・	変更	後の送風村	幾の電動構	幾出力									
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%		
(ろ	計算対	象床词	面積につい	て5%を超	えない増	加(室	用途が「騙	主車場	」「厨房	」である場合の)み)			
	室用途	(駐車場)										
	変更前・	変更	[後の床面和	責										
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%		
	室用途	(厨房)										
	変更前・	変更	[後の床面和	責										
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%		

[照明設備関係]

	価の対象に変更」でで			建	毎につき	、次に掲	げる	, (V	ハ) に該当し、	これ以外	については	「変更7	なし」か「性能が向上
(い)	単位面積	債あ	たりの照	引明	器具の消	費電力に	つV	いて1	0%を超えない	増加			
	室用途	()							
	変更内容	ξ			機器の仕	比様変更			台数の増減				
	変更前・	変見	更後の単	位百	面積あたり	の消費電	〕力						
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%
	室用途	()							
	変更内容	Ĕ			機器の仕	上様変更			台数の増減				
	変更前・	変見	更後の単	位百	面積あたり	の消費電	〕力						
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%
	室用途	()							
	変更内容	Ĕ	I		機器の仕	上様変更			台数の増減				
	変更前・	変見	更後の単	位百	面積あたり	の消費電	力						
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%
	室用途	()							
	変更内容	Ĕ			機器の仕	上様変更			台数の増減				
	変更前・	変見	更後の単	位百	面積あたり	の消費電	之						
	変更前	()	変更後	()	増加率	()	%

[給湯設備関係]

評価の対象 向上する変更			用途毎に~	つき、次り	こ掲	げる	5 (い) に該	当し、こ	これり	人外については	· 「g	変更なし」か「性能が			
(い) 給湯機	(い) 給湯機器の平均効率について10%を超えない低下														
湯の使用	用用途	()								
変更内容	容		機器の仕	様変更			台数の増減								
変更前	変更前・変更後の平均効率														
変更前	()	変更後	()	減少	·率	()	%			
湯の使り	用用途	()								
変更内容	容		機器の仕	様変更			台数の増減								
変更前	変更後の)平均刻	効率												
変更前	()	変更後	()	減少	率	()	%			
湯の使り	用用途	()								
変更内容	容		機器の仕	様変更			台数の増減								
変更前	変更後の)平均刻	办率												
変更前	()	変更後	()	減少	率	()	%			

[太陽光発電関係]

下:変更		(い)	, (ろ) の	いずれぇ	かに該当	当し、	これ以タ	卜につ	いては	「変更なし	」か「	性能が	向上す	つる変更	〕であ	53
(い))太陽電	池アレ	イの	システ	ム容量に	こついて	て2%を	超えない	\減少	>							
	変更前・	変更	後の力	大陽電池	ロアレイ	のシス	テムネ	量容量									
	変更前	シス	テム	容量の	合計値	()								
	変更後	シス	テム	容量の	合計値	()								
	変更前・	変更	後のシ	ノステム	容量減	沙率	()	%							
(ろ) パネル	方位角	言につ	いて30,	度を超れ	えない変	変更又	は傾斜角	角につ	いて10度	度を超えな	い変更					
	パネル都	番号	()											
	パネルカ	5位角	□ 3	30度を起	習えない	変更	()	度変更							
	パネル値	頁斜角	<u> </u>	10度を起	習えない	変更	()	度変更							
	パネル都	番号	()											
	パネルカ	5位角	□ 3	30度を起	習えない	変更	()	度変更							
	パネル値	頁斜角	<u> </u>	10度を起	習えない	変更	()	度変更							